

令和4年度天皇杯受賞者受賞理由概要
畜産部門

地域畜産業の基盤となる大規模自給飼料生産・活用型TMRセンター

○氏名又は名称 株式会社 アドバンス（代表 永田 浩徳）

○所在地 熊本県菊池市

○出品財 技術・ほ場（飼料生産部門）

○受賞理由

・地域の概要

菊池市は、熊本県の北部に位置し、農業産出額383億円のうち77%を畜産が占め、畜種別では豚、肉用牛、乳用牛の順である。菊池地域の乳用牛飼養頭数は、生乳生産量西日本一である熊本県の約4割を占め、酪農の盛んな地域である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

飼料用トウモロコシの生産・サイレージ（家畜用発酵飼料）調製及びTMR（完全混合飼料）製造・供給を目的とした大規模自給飼料活用型TMRセンターとして平成19年から酪農家への飼料供給を始めた。育成牧場（親牛になる前の雌牛を育てる牧場）を平成28年度に併設し、預託を受けた乳用種育成牛に黒毛和種牛の受精卵を移植することで和牛子牛の供給も始め、地域の酪農・和牛生産振興の中核となっている。

・受賞者の特色

（1）高品質で安価なトウモロコシサイレージを利用したTMR生産と酪農家経営改善
地域の多くの農家からの多筆圃場でトウモロコシ二期作、良質サイレージ調製およびエコフィード（食品製造副産物等家畜用飼料）活用による高品質低価格TMR製造を地域内の作業連携により達成し、酪農家の軽労化と1頭当たり日乳量の県平均より1割増加を実現させた。

（2）地域連携による酪農および和牛産業の振興

乳用種育成牧場を併設し酪農家の労力軽減とともに、子牛の生産拠点から提供を受けた黒毛和種の受精卵を預託育成牛に移植することで和牛子牛供給の一翼を担い、和牛産業も包含した地域畜産業の持続性を高める役割を果たしている。

（3）女性の活躍

従業員7名のうち2名が女性であり、事務担当の1名がほ場作業の管理他、書類作成・提出等を一手に担うことにより、他の従業員は飼料生産や育成牧場管理に専念することができ、経営の効率化と生産性の向上に大きく貢献している。

・普及性と今後の発展方向

耕作放棄地を含む作業受託面積の拡大、高品質低価格TMR供給および飼養管理技術指導による規模拡大を志す者や新規就農者への支援、高齢者の経営延長支援等は地域を支えるモデルであり、併設の育成牧場による酪農家の労力軽減、黒毛和種肥育素牛生産は菊池地域の畜産業の発展の基礎であり、全国の先導事例と期待できる。